



サイエンスカフェ

science Café

サイエンスカフェとは？

(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンスカフェ』を開催しています。

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。

第51回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2019年 5月 17日(金)
18:00 ~ 19:30

●場所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：「計算の質・量」

●ゲスト：^{みやの えいじ}宮野 英次 氏

(情報工学研究院
知能情報工学研究系 教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電話：0948-29-7509（平日10:00~17:00）

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

Web：http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/pr/sciencecafe



ゲスト紹介

^{みやの えいじ}
宮野 英次 氏

情報工学研究院
知能情報工学研究系
教授

「一年間の収支から納める税金の額を求める」「2次式の解を求める」という計算問題から、「目的地までの安価な経路を求める」「アルバイトのスケジュール管理を行う」という日常生活での問題まで「計算」もしくは「情報処理」が必要になることがあります。

サイエンスカフェでは、計算手法・情報処理手法・アルゴリズムについて解説を行い、良「質」な計算を使うことで、計算にかかる時間「量」を大きく削減できることを、簡単な例を用いて考えます。

